

平成 19・20 年度 土木学会複合構造委員会 第 4 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 19 年 12 月 14 日（金）14:00～17:30
2. 場 所：宇都宮大学 工学部 建設学科棟 会議室
3. 出席者：中島委員長，横田副委員長，渡辺幹事長，池田幹事，大山幹事，大垣幹事，葛西幹事，島幹事，杉浦幹事，田中幹事，西崎幹事，古市幹事，溝江幹事，山口幹事，武知幹事（欠席者：本間幹事，岡田事務局）（敬称略）
4. 配布資料
資料 幹 4-1-1 平成 19・20 年度 第 3 回幹事会議事録（案）
資料 幹 4-1-2 平成 19・20 年度 第 1 回委員会議事録（案）
資料 幹 4-2-1 第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウムのまとめ
資料 幹 4-2-2 第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウム決算書
資料 幹 4-2-3 第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウムの反省・申し送り事項
資料 幹 4-3 MINUTES OF THE INTERNATIONAL MEETING ON HYBRID STRUCTURE

資料 幹 4-4-1 平成 20 年度全国大会共通セッションテーマ申込み
資料 幹 4-4-2 「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成申請書
資料 幹 4-5-1-1 小委員会活動報告「性能照査指針小委員会」
資料 幹 4-5-1-2 複合構造物の性能照査指針（案）の改定について
資料 幹 4-5-2 小委員会活動報告「複合構造物の現状調査小委員会」
資料 幹 4-5-3 小委員会活動報告「維持管理小委員会」
資料 幹 4-5-4 小委員会活動報告「新材料による複合技術研究小委員会」
資料 幹 4-5-5 小委員会活動報告「FRP 複合橋梁小委員会」
資料 幹 4-5-6 小委員会活動報告「FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会」
資料 幹 4-6-1 小委員会と出版区分に関する申し合わせ
資料 幹 4-6-2(1)* 複合構造委員会内規細則の第 2 次改正（案）について
資料 幹 4-6-2(2)* 平成 19・20 年度第 2 回複合構造委員会 議事次第案
資料 幹 4-6-3 平成 19 年度全国大会研究討論会および年次学術講演会プログラム
資料 幹 4-6-4 「複合構造技術の最先端 その方法と土木分野への適用」に関する講習会のまとめ

*資料幹 4-6-2 が重複していたため，議事録では枝番を()書きで追加している．

5. 議事次第

- (1) 第 3 回幹事会議事録案・第 1 回委員会議事録案の確認（資料 幹 4-1-1，幹 4-1-2）

武知幹事より第 3 回幹事会議事録案について説明があり了承された．

溝江幹事より第 1 回委員会議事録案について前回からの変更点について説明があった．p.3 の“また，9A/9B の大幅な改訂に伴い……”は削除する．

- (2) 国際セミナー（資料幹 4-3）

池田から日韓台ジョイントセミナーの後に開催した国際ミーティングの議事概要について説明があった．

・来年は台北で 11/7（第 1 候補）または 11/14（第 2 候補）に開催予定であること，日韓台の連携

業務としてジョイントセミナー開催以外に複合構造の設計に関するアジアの共通コードを作成する計画があることなどの説明があった。

- ・共通コードの内容に関する議論は当面は幹事会で行う。本格的に作業が始まったら専門のWGを立ち上げて対応する。
- ・共通コードの案としては、複合指針の共通編がいいのではとの意見があった。

(3) 平成20年度全国大会共通セッションテーマ申込み報告(資料 幹4-4-1)

渡辺幹事長から来年度全国大会の共通セッションに“複合構造物”の申込みをしたことが報告された。

- ・第1回委員会時に“革新的構造材料”を“複合構造物”のセッションに集約することが提案されたので、渡辺幹事長から上田委員に“革新的構造材料”の取り扱いについて確認する。
- ・“革新的構造材料”を“複合構造物”のセッションに集約する場合には、第2回委員会(2008/1/17開催)や関連する小委員会等で、事前にアナウンスしておくのがよい。

(4) 平成20年度ジョイントセミナー助成申請報告(資料 幹4-4-2)

横田副委員長から来年の台北での日韓台ジョイントセミナーについて「土木学会学術交流基金」ジョイントセミナー助成に申請したことが報告された。

- ・重点研究課題に関する募集案内がきているので、複合構造委員会の各委員にメールにて研究課題案の募集を連絡する。もし委員から提案がなければ、複合構造標準示方書作成のための活動費として申込むのがよいのではとの意見があった。

(5) 小委員会活動報告

性能照査指針小委員会(資料 幹4-5-1-1, 幹4-5-1-2)

渡辺幹事長より小委員会の活動報告と今後の予定、指針案の名称変更について説明があった。

- ・指針(案)の名称を「複合構造標準示方書」に変更することを委員会にて審議する。
- ・本小委員会は示方書を作成する組織となっているので、示方書を審議する組織として「示方書小委員会」を新たに立ち上げるのがよいとの意見があった。
- ・幹事会でも示方書のチェックを行うが、示方書小委員会が主体となってチェックする。示方書小委員会は、当面は示方書を審査し出版するまでを担当するが、将来的には示方書の改訂を計画する組織とする。

現状調査小委員会(資料 幹4-5-2)

葛西幹事より小委員会の活動報告と今後の予定について報告があった。

- ・最終成果物は「複合構造物の現状調査」に関する複合レポートとし、途中で報告書案を作成する必要はない。
- ・講習会を、新材料小委員会と共催で平成20年7月に開催できるように検討していく。
- ・複合レポートに構造物の事例を掲載する際には、著作権等の了解が得られているか再度確認する。
- ・複合構造の現状調査に関する複合レポートの出版企画書について、発行部数は500部、発行年等を修正、連絡担当委員は葛西幹事とする。

維持管理小委員会(資料 幹4-5-3)

杉浦幹事より活動報告と今後の予定について報告があった。

- ・12/18に小委員会を開催予定であり、その結果を踏まえて第2回委員会(2008/1/17開催)に報告する。

新材料による複合技術研究小委員会(資料 幹4-5-4, 幹4-6-4)

大垣幹事より活動報告と、7月に開催した講習会の報告があった。

- ・出版物については HP でチェックして購入する人が多いので、出版物に関するコメントを HP に掲載するなど購入を促進するための工夫をしているとの報告があった。

FRP 複合橋梁小委員会（資料 幹 4-5-5）

西崎幹事より活動報告と今後の予定について報告があった。

- ・成果物として照査法をとりまとめた資料を考えているが、名称については検討中である。
- ・FRP 橋梁に関するシンポジウムの今後の開催については今のところ未定である。このシンポジウムの内容を複合シンポジウムの FRP に関するセッションに組み入れ、このセッションを充実していくのがよいとの意見があった。建築学会の FRP 関連組織にも声掛けを行う必要がある。

FRP による鋼および複合構造の補修・補強小委員会（資料 幹 4-5-6）

山口幹事より活動報告と今後の予定について報告があった。最終成果として、資料集の作成と講習会の開催を考えている。

第 2 回委員会（2008/1/17 開催）に提出する各小委員会活動報告の資料の統一について

委員会への提出資料は、活動報告の書類のみとし、名簿は付けない。なお、大学教員の職名変更など名簿の修正は小委員会で適宜行うこととした。

（6）複合構造委員会内規細則の第 2 次改正（案）について（資料 幹 4-6-2(1)）

渡辺幹事長より、川島元事務局からの内規細則の修正版の紹介があった。

- ・横田副委員長が内規細則の改正を担当することになった。次回以降の幹事会で改正案について議論する。
- ・研究調査小委員会の期間は 3 年、委員の任期も 3 年に変更する。

（7）小委員会と出版区分に関する申し合わせ（資料 幹 4-6-1）

横田副委員長より小委員会と出版区分に関する申し合わせ案について説明があった。

- ・分類 1 の活動期間は、内規細則（資料 幹 4-6-2）に合わせて 1 期 3 年とする。示方書小委員会は分類 1 に位置付けられる。
- ・出版区分も合わせて整理するのがよい。
- ・分類 2 の小委員会の出版区分は区分 2 あるいは 3 とする。分類 3 の小委員会の出版区分は区分 3 のみとする。分類 3 の小委員会で良い成果物ができたら、出版区分 2 として成果物を出版するためには、分類 2 の小委員会を新たに立ち上げる必要がある。
- ・現状の各小委員会をこの区分で分類すると、指針小委員会以外は分類 3 となる。現状の各小委員会と合わせて整理する必要があるのではとの意見があった。
- ・小委員会と出版区分の分類案については、次々回（平成 20 年 6 月）の委員会で審議する。

（8）平成 19 年度全国大会報告（資料 幹 4-6-3）

西崎幹事から平成 19 年度全国大会の研究討論会、複合構造物のセッションについて報告があった。

（9）第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウム（資料 幹 4-2-1，幹 4-2-2，幹 4-2-3）

古市幹事から第 7 回複合構造の活用に関するシンポジウムの報告があった。

- ・収支に関しては、参加者が計画時より大幅に増えた（145 名（学生 24 名含む））ため、参加券の郵送費等について最終確認が必要であるが、40 万程度の黒字となった。
- ・次回のシンポジウム開催時への申し送り事項として、幹事および事務局からの意見を集約して資料幹 4-2-3 にまとめたが、これ以外にもあれば、古市幹事に連絡することになった。
- ・申し送り事項として、“シンポジウムの CD の掲載論文に関しては、投稿の際に、論文の著作権の学会への移転手続きをする”ことを追加する。
- ・次回以降の開催については、建築学会と交互に開催という方法もあるが、次回以降も土木学会

が主催で運営するのがいいのではとの意見が多くあった。

- ・ 建築学会との共催に関しては、今回の建築学会の窓口が鋼コンクリート合成構造運営委員会であったが、今後 FRP 関連の論文を増やすためには、建築学会内の FRP 関連の委員会とも連携する必要がある。建築学会との打合せの際に相談する。

(10) 平成 19,20 年度 第 2 回複合構造委員会 議事次第案 (資料 幹 4-6-2(2))

渡辺幹事長から、来年 1/17 開催の委員会の議事次第案について説明があった。

- ・ 審議事項がわかるように、議事次第の中に記入するのがよい。
- ・ 議事次第の番号、資料番号に一部間違いがあるので、修正する (議事次第の番号 12→10、資料 1-...→2-...)。
- ・ 西崎幹事から各賞の推薦について 12/13 までの期限で募集したが、今年度は無かったとの報告があった。第 2 回委員会 (2008/1/17 開催) でも報告する。

(11) 出版関係の報告

武知幹事から、平成 20 年度の出版物として「複合構造標準示方書」と「各種新材料の特性と新しい複合構造の性能評価資料」について 11/22 の出版委員会にて承認されたこと、および「鋼・コンクリート複合構造の理論と設計(1)・(2)」の出版取り下げが了承されたことについて報告があった。また、出版物の現在の販売状況について報告があった。

(12) その他

- ・ 複合シンポジウムの CD が 100 部余っているので、50 部は学会に、残りの 50 部は次回委員会の際に必要な委員に配布することとなった。
- ・ ISO 連絡幹事は、現在、栗田委員と大山幹事となっているが、栗田委員の学生部長 (大工大) の就任に伴い今後 ISO 委員会への出席が困難となる可能性が高いため、後任として大垣幹事が担当することとなった。
- ・ 今後の幹事会日程
第 5 回 2008/2/28 (木) 午後 (場所 那覇市内) の予定。詳細は別途連絡する。

以上 (記録・文責 池田 学)